

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（3月）

留学先：カセサート大学

氏名：土田郁子

3月の主な出来ごととして、中間テストとマネジメントゲームイベントがありました。また、些細なことなのですが残りの留学期間を無下にしないように、新しいことも少し初めてみた月でもあります。

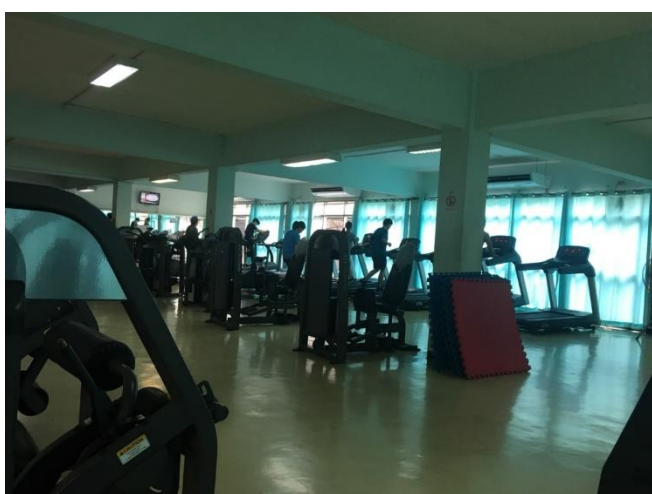
まず中間テストについてなのですが、環境経済の授業内容が難しく、全ての範囲を完全に理解してテストに臨むことができませんでした。環境経済というと、実際に起こった、もしくは起こっている環境問題の原因や解決策を詳しく見て、そこから今後環境問題をふせぐためにどう活かすか、または何が解決の糸口として期待されているかといったことを暗記したり考えたりすることが主となっている科目だと勝手に思っていました。しかし実際は、図や曲線を見て、汚染物質を除去することによって得られる利益とかかるコストを読み取ったりして論理的かつ精密に経済活動と環境保護の両立を最適化させる方法を考えるといったアプローチが多かったです。こういう時にマクロ経済を履修しておけばよかったなと後悔します。テストの結果は100点満点中39点でしたが、クラスの半分より上の成績でした。難しい内容を英語で受講しているという条件下では現地学生も留学生も関係ないと実感しましたが、最高点は98点だったそうなので期末は頑張ろうと思います。

テスト期間中にマネジメントゲームイベントがありました。今回で2回目の参加だったので、前回ほど学ぶことに負担はなく頭を整理させながら決算方法の仕組みを復習することができました。何より、前回知り合った参加者の社長の方々とまたお話できたことが今後のキャリアを考えるうえで一番の収穫となりました。前回同様2日間開催され、マネジメントゲームと決済の記帳が済んだら食事会が行われました。この食事会の場で、悩みや不安を参加者の方々に聞いていただいただけでなく、ありがたいことにアドバイスをもらうこともできました。このイベントで出会った方々はとても楽しい人たちで、たくさんお世話にもなりましたので日本に帰っても繋がりを持ち続けたいと思いました。参加者の方が経営されている会社にインターンシップをお願いすることもできたので、人との繋がり大切さを実感すると同時に、このイベントに参加して良かったと心から思いました。

中間テストを終えてから、残りの滞在期間を少しでも彩ろうと思い、タイ語ではなくて英語でレッスンをしているダンス教室に試しに行ってみました。一応カセサート大学のダンスクラブに入っているのですが、タイ語がわからないのであまり参加できずじまいな状態だったので運動不足解消と何か充実感を求めて足を運んでみました。実際に行ったら、数名タイ人の参加者はいるものの、日本人の先生が日本人の参加者に向けて

日本語を交えて教えているという構造でした。それはいいのですが、日本人特有の新参者を寄せ付けない空気が嫌だったのであと 3 回分あるお試し回数券は他の時間帯のレッスンに使おうと思いました。ダンス自体上手くできなかったのであんまり楽しくなかったです。次はちゃんと初心者向きのレッスンに行きます。

お試しダンス教室は1回 90 分なのですが、普段の運動不足が祟って息切れと翌日の筋肉痛がすごかったので、定期的に運動をしようと思い立ち大学内のジムに通い始めました。大学内のジムなので基本的に学生は無料で、夕方と休日は 20THB(約 70 円)で利用できます。運動不足解消だけでなく、安くてつい食べ過ぎて肥えていく体を引き締められることを願い、引き続き通い続けようと思います。



↑大学のジム

あまり写ってはいないが、筋トレ用の器具も結構豊富に取り揃えてある。



←ワニ肉の串焼き

珍しかったので1本食べてみた。鶏肉に近く、おいしかった。



←茹でたエビ、貝、イカを殻が付いたまま辛めのソースであえた雑な料理
ビニール手袋を付けて素手で食した。見た目は悪いがビールによく合いとてもおいしかった。



←ポメロという果物
文旦のなかまらしい。さっぱりしていて食べやすくおいしかった。